

2017年5月23日

～エンタメ消費者動向の定期サービス『eb-i Xpress』発表～

定額制動画配信サービスの実態調査

利用者は推定1100万人！ 40代の利用者が最多。

映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽などエンターテインメントの最新消費者動向を独自のユーザー調査から読み解く、企業向け定期サービス『eb-i Xpress』（イー・ビー・アイ・エクスプレス／配信元：カドカワ株式会社）。今回『eb-i Xpress』では、全国47都道府県に在住する5～69歳男女を対象に、定額制動画配信サービスの利用実態について調査を行いました。

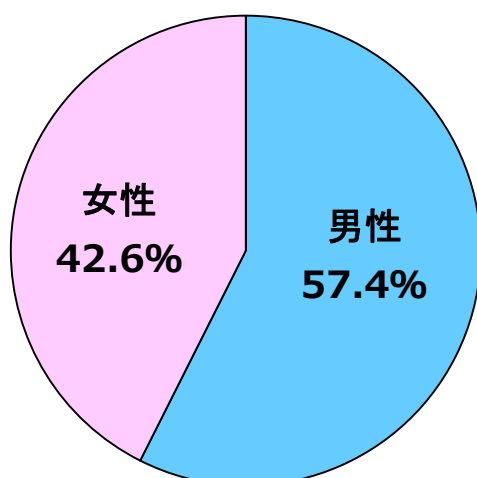
●有料の動画配信サービスを利用する人は1000万人を突破。

●利用者層は40代が最も多く、経済的に安定した大人世代に浸透。

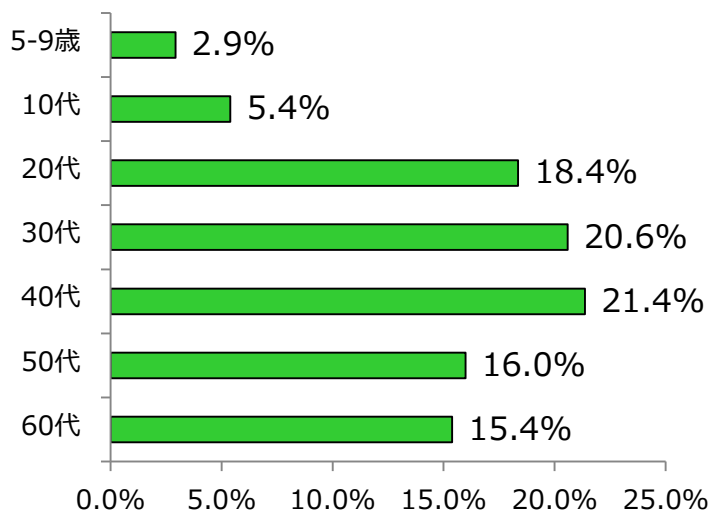
今回、“お金を支払って定額制の動画配信サービスを利用しているか”について調査したところ、推定1100万人が利用しているという結果になりました。2015年9月の同 eb-i 調査では722万人が利用しているという結果でしたが、様々なサービスが参入し、定額制動画配信サービスが浸透するとともに、今後も利用者数が増加していくことが見込まれます。

利用者の男女比率としては、男性 57.4%、女性 42.6%で、やや男性が多いという傾向が見られました。年代別では40代が最も多く 21.4%、以降30代が 20.6%、20代が 18.4%と続きます。全体的には、経済的に安定し、映像コンテンツに対する需要も高い、大人世代の利用者が多い結果となりました。

～利用者の男女比率～



～利用者の年代別比率～



(単位：人 n=26436 集計期間：2017年5月15日～5月16日／出典：eb-i Xpress)

●定額動画配信サービスで人気のジャンルは「海外映画」。

定額制動画配信サービスの利用者が最も観ているジャンルは「海外映画」で、利用者の半数近くが視聴しているという結果になりました。2位以降は、「国内映画」、「海外ドラマ」、「アニメ」と続き、地上波でも視聴できる「国内ドラマ」、「国内バラエティ」といったジャンルよりも、視聴に利用料がかかるジャンルのコンテンツについて人気が高い傾向が見られました。

【定額制動画配信サービス ジャンル別ランキング TOP10】

順位	ジャンル
1	海外映画
2	国内映画
3	海外ドラマ
4	アニメ
5	国内ドラマ
6	スポーツ
7	音楽・ライブ
8	国内バラエティ番組
9	ドキュメンタリー・自然番組
10	特撮

(単位:人 n=26436 集計期間:2017年5月15日~5月16日/出典:eb-i Xpress)

●最も使用している定額動画配信サービスは「Amazonプライム・ビデオ」。

各利用者が使用している動画配信サービスを調査したところ、「Amazon プライム・ビデオ」が最も多い結果となりました。国内でのスタートは後発ながら、「Amazon プライム」の盤石なユーザー基盤をもとに、性別・年齢を問わず幅広い層の利用者を獲得しています。同じく海外発の「Hulu」は2位に、「ひかりTV」や「dTV」といった国内初のサービスも上位にランクイン。さらに、今季よりJリーグ全試合を動画配信する「DAZN(ダ・ゾーン)」が6位に登場しています。サービス運営各社は、オリジナルコンテンツにも力を入れており、そのサービスならではの“限定”要素も、利用者を引きつける理由のひとつになっています。今後視聴方法やコンテンツが多様化する中、各サービスの動向が注目されます。

【定額制動画配信サービス プラットフォーム別ランキング TOP10】

順位	プラットフォーム
1	Amazon プライム・ビデオ
2	Hulu
3	ひかりTV
4	dTV
5	GYAO!
6	DAZN(ダ・ゾーン)
7	Netflix
8	U-NEXT
9	アニメ放題
10	d アニメストア

(単位:人 n=26436 集計期間:2017年5月15日~5月16日/出典:eb-i Xpress)



◇ 『eb-i Xpress』 調査概要

国内26万人パネルから、全国47都道府県の5～69歳(※)の男女1万人超のモニターを対象に、エンターテインメント分野に関して週次でWeb調査を行う、大規模ユーザーリサーチシステム「eb-i」を元に運用。映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽など各エンターテインメントジャンルについて、「eb-i」から抽出したデータをもとに、一定のセグメント・ユーザー嗜好を組み合わせたクロス集計を実施。

(※)14歳以下は保護者の代理回答となります。

◇ 『eb-i Xpress』 サービスについて

『eb-i Xpress』は、月次レポートと専用サイトのアクセス権を基本パッケージとしたサービスになります。月次レポートはエンターテインメント各ジャンルの接触ランキング、各種分析、時流に応じたテーマをデータで切り取る特集記事などから構成されます。専用サイトでは、随時更新される集計データと過去のアーカイブを閲覧することができます。 URL: <http://www.f-ism.net/>